

ストップ・ザ・交通事故

- 天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう！
- スピードダウンと路面状況に合わせた慎重な運転を！
- 「急」のつく運転操作はスリップにつながり大変危険！
- 雪山で見通しが悪い交差点などでは、危険を予測して、徐行と安全確認を徹底しましょう！
- 吹雪や大雪などの悪天候時には、不要な外出を控えましょう！
やむを得ず車で外出するときは、道路情報や天気予報を確認し、防寒具やスコップなどを準備しましょう！



自動車運転免許の更新時講習

期日 / 1月17日(水)
場所 / 町公民館

- ▶優良講習 / 11時30分
- ▶一般講習 / 13時
- ▶違反講習 / 9時
- ▶初回講習 / 14時30分

※講習は、警察署で免許更新の手続きを済ませた後に受講してください。

あけましておめでとうございます



昨年、警察活動に対するご理解とご支援をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

今年も署員が一丸となり、地域の皆さんが安心して暮らせる犯罪や事故のない弟子屈町の実現に向け、一層努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

摩周一一〇番

弟子屈警察署
所在地交番
☎482-2110
川湯駐在所
☎483-2151

弟子屈警察署ホームページ <http://www.teshikaga-syo.police.pref.hokkaido.jp>

地域安全ニュース

平成30年1月発行 第244号

弟子屈地区防犯協会連合会

☎482-2110(弟子屈警察署内)

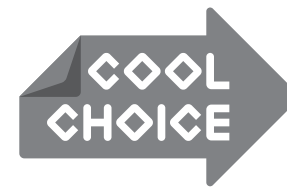


年頭あいさつ

弟子屈地区防犯協会連合会 会長 田中 富士男

新年あけましておめでとうございます。
皆さまには平成30年の新春を健やかに、大きな希望をもってお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
さて、弟子屈地区防犯協会連合会といたしましては、昨年も、標茶町防犯協会、川湯防犯協会、弟子屈防犯協会の3単位協会が一丸となり安全安心な地域社会を目指し努力してきたところであります。
昨年を顧みますと、弟子屈警察署が管轄する弟子屈、標茶両町においては、凶悪な事件の発生もなく経過しておりますが、これもひとえに、関係機関、団体、そして、両町民の皆さまによる防犯活動や犯罪に対する関心度の高さがこうした形となって現れているものと思えます。特に、弟子屈警察署の佐藤署長をはじめとした33名の警察職員の皆さんが、日夜にわたって治安維持の任務にあたり、きめ細やかなパトロールなどの活動を実施していることが犯罪抑止に大きな役割を果たしているものと思えます。
しかし、他の地域においては、犯罪の発生は、依然として高い水準で推移しており、車上ねらいや子どもに対する声かけ事案、そして、特殊詐欺事案の発生が後を絶ちません。
また、昨年は、全国各地において、まれに見る凶悪な事件が多数発生しました。
7月には、神戸市において、祖母母などが26歳の孫に殺害される事件が、8月から10月にかけては、神奈川県座間市のアパートで女子高校生など9名が27歳の男に殺害される事件が発生しました。
また、3月には、千葉県で小学3年生の女児が誘拐され殺害されるという痛ましい事件も発生しております。
千葉県の事件については、こともあろうに、犯人は、女児が通う小学校の保護者会会長を務め、通学路で見守り活動をしていた人間であり、事件後も、素知らぬふりをして、見守り活動を続けるなど、自らの耳を疑うような信じることのできない事件でありました。
いずれも、断じて許すことのできない事件であり、二度とこのような凶悪事件が発生しないことを願うばかりです。
弟子屈防犯協会連合会では、昨年12月9日、青少年の健全育成事業の一端として、第8回ジュニア防犯王争奪選手権を標茶町において開催いたしました。同選手権には、弟子屈、標茶両町の子どもたちが多数参加し、自分の身は自分で守ることを目指して、大きな声で助けを求めた大声コンテストや、犯人の特徴を記憶する似顔絵コンテストなどを実施しました。
当連合会といたしましては、本年におきましても、会員が一丸となり安全安心な地域社会を目指し、努力して参りますので、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。
結びとなりますが、平成30年が、犯罪のない明るい年となるよう願いますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

エコのすすめ



▶COOL CHOICE(クールチョイス)とは地球温暖化を防止するため、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」などを選ぶ『かしこい選択』をしていこうという国民運動です。



目指そう！無駄をなくした賢くエコな生活

普段の生活を見直してみると、無駄なことがたくさんありませんか？
無駄をなくし環境にやさしく、簡単にできることから少しずつ実践してみませんか？

料理は残さずおいしく食べよう！

新年を迎え、家族や仲間が集まってテーブルを囲む機会が増える季節ですが、食べられるのに捨てられる「食品ロス」が、全国で国民1人当たり、毎日茶碗1杯分にもなるのをご存知ですか？

「もったいない」の気持ちで食べ残さないよう心がけましょう。

- ①好みや食べきれぬ量を確認して準備しよう。
- ②料理が多く残っているテーブルやお皿があれば、少なくなっているテーブルやお皿へ分けよう。
- ③始めや終わり頃に料理を食べるように声をかけよう。



荷物は1回で受け取りましょう！

ネット通販の拡大などで、ますます利用する機会が多い宅配便ですが、約2割にも上る再配達によって、年間約42万トンのCO₂が余計に排出されています。これは一般家庭9件分/年にあたります。できるだけ1回で受け取ることができるよう工夫してみませんか？

- ①荷物の送り方
 - ・相手に事前に伝える
 - ・相手の受け取りやすい日時を確認する
- ②自分で注文した荷物の受け取り方
 - ・受け取る時間帯を指定する
 - ・自宅から近い場所や通勤経路などの窓口で受け取る。



問い合わせ先/役場環境生活課環境係 ☎482-2934(課直通)

アイヌの自然

アイヌのことを、アイヌ語では「セタ」とか「シタ」と呼ぶ地域が多かったようです。単語以外にも、「這うもの」「戸口のそばにいるもの」「歯をむき出すもの」といった表現が見られ、分類アイヌ語辞典を著した知里真志保氏は、方言や状態の違う言い方で44語を収録しています。狩りに行くときの相棒としても欠かすことのできなかった存在。テレビコマーシャルの「お父さん犬」で有名になったアイヌ犬は、北海道の気候に順応して生きてきた原種だそうです。



天然記念物指定を機に名称が「北海道犬」に



松浦武四郎の歌碑

進められていくこととなり、大きな変化が予想される2018年、実は北海道にとつて命名

EMC通信

～川湯の森から～

2017年は阿寒摩周国立公園が誕生し、町内外で改められたのは、摩周湖への意識が高まった一年と

これからの150年のために

150周年という節目の年でもあります。
北海道と名付けられたのは1869年。その名付け親といわれるのが探検家・松浦武四郎です。北海道に6度も探査に訪れた彼は、もちろんこの地域にも訪れており、風景の美しさを歌った碑も屈斜路湖周辺に建てています。そんな蝦夷地の第一人者となった松浦武四郎は明治政府に対して蝦夷地に代わる新たな名称をいくつか提案し、その中から今の北海道に繋がる「北加伊道」が選ばれたのでした。
150年の歳月が流れ、時代は変わったものの、松浦武四郎が見た美しい風景が変わらぬよう、私たちが守っていかなければなりません。具体的にどうすべきか、初心に返って見つめ直すのもいいかもしれませんね。

川湯エコミュージアムセンター (EMC) ☎483-4100

URL <http://www.kawayu-eco-museum.com>

1月は9:00~16:00開館(毎週水曜日休館・12/29金)~1/3(水)年末年始休館)